

岩手県	金	福岡県	金
陸前高田市 りくぜんたかたし	VS	みやこ町 みやこまち	
実施回数 17 回目		実施回数 5 回目	
人 口 20,179 人		人 口 20,782 人	
参加者 15,516 人		参加者 15,090 人	
参加率 76.9%		参加率 72.6%	

宮城県	銀	埼玉県	金
七ヶ浜町 しちがはままち	VS	小鹿野町 おがのまち	
実施回数 8 回目		実施回数 11 回目	
人 口 19,273 人		人 口 12,428 人	
参加者 10,077 人		参加者 7,482 人	
参加率 52.3%		参加率 60.2%	

秋田県	銀	神奈川県	金
羽後町 うごまち	VS	松田町 まつだまち	
実施回数 5 回目		実施回数 3 回目	
人 口 15,948 人		人 口 11,441 人	
参加者 8,238 人		参加者 8,917 人	
参加率 51.7%		参加率 77.9%	

秋田県	銀	香川県	金
男鹿市 おがし	VS	多度津町 たどつちょう	
実施回数 5 回目		実施回数 18 回目	
人 口 29,604 人		人 口 23,733 人	
参加者 15,021 人		参加者 15,131 人	
参加率 50.7%		参加率 63.8%	

秋田県	銀	和歌山県	金
仙北市 せんぼくし	VS	上富田町 かみとんだちょう	
実施回数 6 回目		実施回数 11 回目	
人 口 28,048 人		人 口 15,521 人	
参加者 14,520 人		参加者 9,518 人	
参加率 51.8%		参加率 61.3%	

秋田県	金	広島県	銀
美郷町 みさとちょう	VS	竹原市 たけはらし	
実施回数 4 回目		実施回数 8 回目	
人 口 20,621 人		人 口 27,170 人	
参加者 13,753 人		参加者 14,107 人	
参加率 66.7%		参加率 51.9%	

秋田県	銀	広島県	銀
三種町 みたねちょう	VS	北広島町 きたひろしまちょう	
実施回数 4 回目		実施回数 4 回目	
人 口 17,751 人		人 口 19,411 人	
参加者 8,527 人		参加者 9,481 人	
参加率 48.0%		参加率 48.8%	

北海道	金	徳島県	金	鹿児島県	銀
名寄市 なよろし	VS	三好市 みよしし	VS	阿久根市 あくねし	
実施回数 23 回目		実施回数 11 回目		実施回数 7 回目	
人 口 28,614 人		人 口 28,184 人		人 口 21,882 人	
参加者 17,463 人		参加者 17,698 人		参加者 8,126 人	
参加率 61.0%		参加率 62.8%		参加率 37.1%	

【 カテゴリー 4 (人口 : 30,000 ~ 69,999 人) 】

宮城県	銀	大分県	銀
東松島市 ひがしまつしまし	VS	杵築市 きつきし	
実施回数 6 回目		実施回数 2 回目	
人口 40,290 人		人口 30,645 人	
参加者 19,199 人		参加者 12,895 人	
参加率 47.7%		参加率 42.1%	

秋田県	金	愛知県	金
潟上市 かたがみし	VS	扶桑町 ふそうちょう	
実施回数 4 回目		実施回数 3 回目	
人口 33,730 人		人口 34,496 人	
参加者 20,621 人		参加者 20,059 人	
参加率 61.1%		参加率 58.1%	

秋田県	金	岡山県	金
鹿角市 かづのし	VS	赤磐市 あかいわし	
実施回数 4 回目		実施回数 7 回目	
人口 32,672 人		人口 44,785 人	
参加者 22,926 人		参加者 27,320 人	
参加率 70.2%		参加率 61.0%	

秋田県	銀	鹿児島県	金
能代市 のしろし	VS	奄美市 あまみし	
実施回数 4 回目		実施回数 8 回目	
人口 56,110 人		人口 44,722 人	
参加者 24,800 人		参加者 24,689 人	
参加率 44.2%		参加率 55.2%	

秋田県	銀	佐賀県	金
湯沢市 ゆざわし	VS	神埼市 かんざきし	
実施回数 4 回目		実施回数 7 回目	
人口 48,014 人		人口 32,240 人	
参加者 23,465 人		参加者 19,093 人	
参加率 48.9%		参加率 59.2%	

福島県	銅	福岡県	銀
伊達市 だてし	VS	八女市 やめし	
実施回数 4 回目		実施回数 初実施	
人口 62,944 人		人口 66,113 人	
参加者 17,515 人		参加者 26,048 人	
参加率 27.8%		参加率 39.4%	

茨城県	金	徳島県	金
常陸太田市 ひたちおおたし	VS	鳴門市 なるとし	
実施回数 8 回目		実施回数 7 回目	
人口 54,584 人		人口 60,086 人	
参加者 30,869 人		参加者 35,142 人	
参加率 56.6%		参加率 58.5%	

埼玉県	金	沖縄県	銀
秩父市 ちちぶし	VS	南城市 なんじょうし	
実施回数 7 回目		実施回数 11 回目	
人口 65,256 人		人口 42,868 人	
参加者 48,082 人		参加者 18,648 人	
参加率 73.7%		参加率 43.5%	

神奈川県	金	奈良県	銀
寒川町 さむかわまち	VS	広陵町 こうりょうちょう	
実施回数 2 回目		実施回数 2 回目	
人口 48,302 人		人口 34,958 人	
参加者 25,710 人		参加者 17,280 人	
参加率 53.2%		参加率 49.4%	

神奈川県	銀	沖縄県	銀
逗子市 ずしし	VS	豊見城市 とみぐすくし	
実施回数 5 回目		実施回数 2 回目	
人口 59,932 人		人口 62,623 人	
参加者 24,712 人		参加者 24,004 人	
参加率 41.2%		参加率 38.3%	

富山県		鹿児島県		
魚津市		指宿市		
うおづし		いぶすきし		
実施回数	5 回目	VS	実施回数	4 回目
人 口	43,089 人		人 口	42,816 人
参加者	21,670 人		参加者	22,007 人
参加率	50.3%		参加率	51.4%

富山県		岐阜県		
南砺市		羽島市		
なんとし		はしまし		
実施回数	12 回目	VS	実施回数	6 回目
人 口	53,074 人		人 口	68,595 人
参加者	27,636 人		参加者	47,152 人
参加率	52.1%		参加率	68.7%

長野県		大分県		
東御市		豊後大野市		
とうみし		ぶんごおおのし		
実施回数	3 回目	VS	実施回数	5 回目
人 口	30,752 人		人 口	38,024 人
参加者	17,382 人		参加者	15,990 人
参加率	56.5%		参加率	42.1%

広島県		大分県		
三次市		宇佐市		
みやしし		うさし		
実施回数	4 回目	VS	実施回数	3 回目
人 口	54,577 人		人 口	58,085 人
参加者	19,537 人		参加者	35,923 人
参加率	35.8%		参加率	61.8%

秋田県		島根県		鹿児島県			
北秋田市		雲南市		南さつま市			
きたあきたし		うんなんし		みなみさつまし			
実施回数	4 回目	VS	実施回数	11 回目	VS	実施回数	3 回目
人 口	34,093 人		人 口	40,451 人		人 口	35,956 人
参加者	18,972 人		参加者	22,405 人		参加者	24,555 人
参加率	55.6%		参加率	55.4%		参加率	68.3%

【 カテゴリー 5 (人口 : 70,000 ~ 249,999 人) 】

岩手県		長崎県		
奥州市		大村市		
おうしゅうし		おおむらし		
実施回数	8 回目	VS	実施回数	9 回目
人 口	121,188 人		人 口	94,795 人
参加者	82,280 人		参加者	65,358 人
参加率	67.9%		参加率	68.9%

岩手県		沖縄県		
北上市		石垣市		
きたかみし		いしがきし		
実施回数	5 回目	VS	実施回数	3 回目
人 口	93,660 人		人 口	49,141 人
参加者	53,878 人		参加者	18,753 人
参加率	57.5%		参加率	38.2%

※北上市と石垣市は友好都市対戦
 ※石垣市はカテゴリー 4

秋田県		山梨県		
大館市		甲斐市		
おおだてし		かいし		
実施回数	4 回目	VS	実施回数	7 回目
人 口	75,641 人		人 口	74,860 人
参加者	49,430 人		参加者	65,803 人
参加率	65.3%		参加率	87.9%

秋田県		東京都		
大仙市		小金井市		
だいせんし		こがねいし		
実施回数	4 回目	VS	実施回数	3 回目
人 口	85,319 人		人 口	118,015 人
参加者	47,527 人		参加者	97,473 人
参加率	55.7%		参加率	82.6%

秋田県		兵庫県	
由利本荘市		豊岡市	
ゆりほんじょうし		とよおかし	
実施回数	4 回目	実施回数	7 回目
人 口	80,667 人	人 口	84,761 人
参加者	66,810 人	参加者	70,008 人
参加率	82.8%	参加率	82.6%

秋田県		鹿児島県	
横手市		霧島市	
よこてし		きりしまし	
実施回数	4 回目	実施回数	3 回目
人 口	94,448 人	人 口	126,847 人
参加者	83,598 人	参加者	114,289 人
参加率	88.5%	参加率	90.1%

山形県		山口県	
鶴岡市		宇部市	
つるおかし		うべし	
実施回数	4 回目	実施回数	2 回目
人 口	131,629 人	人 口	169,281 人
参加者	28,525 人	参加者	78,202 人
参加率	21.7%	参加率	46.2%

山形県		東京都	
米沢市		狛江市	
よねざわし		こまえし	
実施回数	初実施	実施回数	2 回目
人 口	83,804 人	人 口	80,062 人
参加者	21,412 人	参加者	41,028 人
参加率	25.6%	参加率	51.2%

東京都		大阪府	
昭島市		柏原市	
あきしまし		かしわらし	
実施回数	5 回目	実施回数	9 回目
人 口	112,849 人	人 口	71,270 人
参加者	96,047 人	参加者	51,896 人
参加率	85.1%	参加率	72.8%

神奈川県		福岡県	
伊勢原市		大牟田市	
いせはらし		おおむたし	
実施回数	3 回目	実施回数	11 回目
人 口	101,387 人	人 口	119,228 人
参加者	53,863 人	参加者	81,863 人
参加率	53.1%	参加率	68.7%

神奈川県		山口県	
座間市		山口市	
ざまし		やまぐちし	
実施回数	2 回目	実施回数	4 回目
人 口	128,568 人	人 口	197,426 人
参加者	47,313 人	参加者	77,099 人
参加率	36.8%	参加率	39.1%

愛知県		香川県	
碧南市		丸亀市	
へきなんし		まるがめし	
実施回数	6 回目	実施回数	9 回目
人 口	71,766 人	人 口	113,593 人
参加者	53,193 人	参加者	77,321 人
参加率	74.1%	参加率	68.1%

【 カテゴリー 6 (人口 : 250,000 人以上) 】

秋田県		山口県	
秋田市		下関市	
あきたし		しもせきし	
実施回数	2 回目	実施回数	初実施
人 口	316,160 人	人 口	272,067 人
参加者	105,969 人	参加者	69,150 人
参加率	33.5%	参加率	25.4%

ワールドチャレンジデー (World Challenge Day)

カテゴリー 1

宮崎県		クロアチア	
諸塚村 もろつかそん		ノヴィグラド・チッタノヴァ Novigrad-Cittanova	
人口	1,857人	人口	4,345人
参加者	1,651人	参加者	1,437人
参加率	88.9%	参加率	33.1%

佐賀県		スロバキア	
玄海町 げんかいちょう		ノヴァーク Novaky	
人口	6,023人	人口	4,285人
参加者	4,180人	参加者	2,079人
参加率	69.4%	参加率	48.5%

カテゴリー 2

兵庫県		オマーン	
豊岡市 とよおかし		アルシャルキヤ Al Sharqiya	
人口	84,761人	人口	60,000人
参加者	70,008人	参加者	12,386人
参加率	82.6%	参加率	20.6%

大分県		ギリシャ	
豊後大野市 ぶんごおおのし		マルーシ Maroussi	
人口	38,024人	人口	100,000人
参加者	15,990人	参加者	1,500人
参加率	42.1%	参加率	1.5%
		アルゼンチン	
		ベニート フアレス Benito Juarez	
		人口	20,500人
		参加者	3,641人
		参加率	17.8%

チャレンジデーには、国内対戦以外に、海外の自治体と対戦する「ワールドチャレンジデー (World Challenge Day)」があり、現在、世界の多くの国々が参加し、国境を越えたさまざまな交流が行われています。

ワールドチャレンジデーでは、人口が同規模で異なる国の自治体間で対戦する One-On-One Competition が行われ、人口規模に応じたカテゴリー別に、最も参加率が高い自治体に World Challenge Day Cup が贈られます。2016 年は日本から、カテゴリー 1 で宮崎県諸塚村と佐賀県玄海町、カテゴリー 2 で兵庫県豊岡市と大分県豊後大野市が参加しました。なお、諸塚村 (カテゴリー 1) と豊岡市 (カテゴリー 2) は、World Challenge Day Cup を受賞しました。



- [実施概要]**
- 実施日時：5月の最終水曜日、午前0時～午後9時
 - ルール：チャレンジデーと同様
 - コーディネーター：TAFISA (国際スポーツ・フォー・オール協議会 本部：ドイツ)
 - 対戦組合せ方法：TAFISA による募集・抽選
 - 日本の連絡窓口：笹川スポーツ財団
 - 参加率の発表：TAFISA からの公式発表
 - 後援：UNESCO (国連教育科学文化機関)

チャレンジデー 2016 アワード



チャレンジデー大賞

青森県 新郷村
131.0%

最も参加率の高かった自治体に贈られる賞



新人賞

愛知県 飛島村
81.1%

最も参加率の高かった初実施の自治体に贈られる賞



参加率アップ賞

東京都 狛江市
32.9 ポイントアップ

2015年 18.3% → 2016年 51.2%

昨年と比較して、最も参加率の上があった自治体に贈られる賞



ベストPR賞

山口県 宇部市
41 件

積極的なPR活動の結果、地方紙をはじめとする新聞、テレビニュースなど、合計41件の報道実績がありました。

報道機関から取り上げられた件数が最も多かった自治体に贈られる賞





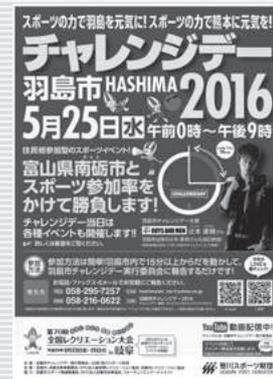
広報アイデア賞

チャレンジデーを広く周知するために、ユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる賞

岐阜県 羽島市

【受賞理由】

SNS を活用し参加者と当該自治体との双方のコミュニケーションを実現させたこと、および地元出身の有名人と連動した広報活動により当該自治体以外からも参加者を集めました。



カテゴリー優秀賞

同カテゴリー内で参加率が最も高かった自治体に贈られる賞

- カテゴリー1 青森県 新郷村 131.0%
- カテゴリー2 北海道 標津町 77.5%
- カテゴリー3 神奈川県 松田町 77.9%
- カテゴリー4 埼玉県 秩父市 73.7%
- カテゴリー5 鹿児島県 霧島市 90.1%
- カテゴリー6 秋田県 秋田市 33.5%



全国共通イベント

全国のチャレンジデー参加者同士の交流を実現し、さらには、チャレンジデーをよりいっそう盛り上げることを目的とし、各実施自治体が共通のルールにより参加できる全国共通イベントを行いました。

【実施種目】 ロープ・ジャンプ・X、ロープ・ジャンプ・EX、スポーツごみ拾い、空き缶積み上げ

※各種目のルールなどは、SSFのホームページをご覧ください。

【参加自治体、チーム数】

ロープ・ジャンプ・X : 14自治体 734チーム

ロープ・ジャンプ・EX : 4自治体 14チーム

スポーツごみ拾い : 6自治体 71チーム

空き缶積み上げ : 12自治体 131チーム

【結果一覧】

■ロープ・ジャンプ・X

順位	人数	回数	ポイント	チーム名	都道府県	自治体名	実施場所
1	6	591	3,546	加茂中学校 3-3A	島根県	雲南市	加茂中学校
2	3	1,118	3,354	海潮中学校 CAN'T FLY	島根県	雲南市	海潮中学校
3	5	585	2,925	加茂中学校 3-2C	島根県	雲南市	加茂中学校
4	6	427	2,562	加茂中学校 3-1A	島根県	雲南市	加茂中学校
5	3	733	2,199	竜昇虎視 ~最強の男たち~	岩手県	陸前高田市	第一中学校敷地



■ロープ・ジャンプ・EX

順位	人数	回数	入替	ポイント	チーム名	都道府県	自治体名	実施場所
1	10	199	197	3,960	アスとれ総合型クラブ A	山梨県	甲斐市	玉幡体育館
2	10	107	105	2,120	アスとれ総合型クラブ B	山梨県	甲斐市	玉幡体育館
3	10	74	12	860	ウォーターメロン	岩手県	葛巻町	江刈中学校体育館



■スポーツごみ拾い

順位	ポイント合計	チーム名	都道府県	自治体名
1	5,890	江本なかよし5人組	兵庫県	豊岡市
2	5,750	みち草②	兵庫県	豊岡市
3	5,145	神岡小学校 A	秋田県	大仙市



■空き缶積み上げ

順位	記録	チーム名	都道府県	自治体名
1	3m58cm8mm	大朝人 S	広島県	北広島町
2	3m42cm2mm	チーム WADA	北海道	幕別町
2	3m42cm2mm	森若建設株式会社	北海道	幕別町



チャレンジデー2016

Ⅲ. トピックス

CHALLENGEDAY

「スポーツで元気なまちづくり」

オリンピック・パラリンピック参加レポート

阿部 雅司

〈北海道留萌郡小平町出身〉

【出場歴】

1994年 リレハンメルオリンピック 出場 団体 金メダル
1992年 アルベールビルオリンピック 出場
1988年 カルガリーオリンピック 出場

2016年4月より名寄市教育委員会教育部スポーツ・合宿推進課の特別参与スポーツ振興アドバイザーに就任し、名寄市の冬季スポーツ拠点化に向けての活動に尽力している。
チャレンジデーでは、メインイベントとなる市民綱引き大会に参加した。

スキー（ノルディック複合）

【訪問先】 北海道名寄市



稲垣 早織

〈千葉県出身〉

新 体 操

【訪問先】 茨城県常陸太田市

【出場歴】 2008年 北京オリンピック 出場

チャレンジデーのプログラムとして、毎年、ラジオ体操を行っている。今年は、全国ラジオ体操連盟の紹介で、元NHKテレビ・ラジオ体操アシスタントの稲垣氏にラジオ体操の正しい動きや効果を披露してもらった。



望月 紀美子

（旧姓・塚田）

〈愛知県出身〉

体 操

【訪問先】 島根県雲南市

【出場歴】 1960年 ローマオリンピック 出場

チャレンジデーでは、雲南市内の特別養護老人ホームなどを巡回して、入居者の方々向けの体操教室を開催した。



安部 欣哉

フェンシング

〈秋田県出身〉

【訪問先】 秋田県秋田市

【出場歴】 1992年 パルセロナオリンピック 出場

フェンシングクラブ「秋田市ジュニアフェンサーズ」の創設者でもあり、現在は、北京オリンピックの日本代表コーチの経験を活かし、秋田県からの代表選手輩出に努めている。
チャレンジデーには、現職の秋田市職員の立場で参加した。

千葉 健郎

ボ ー ト

〈宮城県気仙沼市出身〉

【訪問先】 岩手県陸前高田市

【出場歴】 1960年 ローマオリンピック 出場

日本オリンピックズ協会の紹介で、チャレンジデー当日のオープニングイベントに参加した。

浅利 純子

陸 上 競 技

〈秋田県鹿角市出身〉

【訪問先】 秋田県鹿角市

【出場歴】 1996年 アトランタオリンピック 出場

「浅利純子杯争奪鹿角駅伝」が開催されるようになり、今年ですでに10回を迎えた。
現在は、鹿角市スポーツ推進委員を務めている。
チャレンジデーには、オープニングイベントのラジオ体操に参加した。

各自治体では、地元出身や現在の居住地等、縁の深いオリンピック・パラリンピアンが参加しました。

池崎 大輔

〈北海道函館市出身〉

【出場歴】

2012年 ロンドンパラリンピック 出場

名寄市社会福祉協議会が主催する講演会や市民ボランティア講座に登壇していた。岩見沢高等養護学校2年で、車いすバスケットボールを始め、車いすラグビーに転向後は、道内の強豪チーム「北海道ビッグディッパーズ」のエースとしてプレーし、広報担当も務める。

チャレンジデーでは、市民綱引き大会の開会式に参加した。

ウィルチェアーラグビー

【訪問先】 北海道名寄市



金田 和也

〈東京都小金井市出身〉

水 泳

【訪問先】 東京都小金井市

【出場歴】 2012年 ロンドンオリンピック 出場

2015年より小金井市観光大使。NPO 法人日本オリンピック協会からの薦めがあり、チャレンジデーに参加した。当日は小金井市の西岡市長とともにラジオ体操に参加した。



水井 妃佐子

〈奈良県出身〉

バドミントン

【訪問先】 奈良県広陵町

【出場歴】 1996年 アトランタオリンピック 出場
1992年 バルセロナオリンピック 出場

NPO 法人日本オリンピック協会から紹介を受け、チャレンジデーに参加した。当日はバドミントン教室の講師を務め、50人以上の参加者とともに身体を動かした。



伊藤 友広

陸 上 競 技

〈秋田県出身〉

【訪問先】 東京都小金井市

【出場歴】 2004年 アテネオリンピック 出場

小金井市にある総合型地域スポーツクラブ「黄金井倶楽部」で、小学生陸上教室の講師を務めている。

チャレンジデーでは、セパタクロー見学&体験会に参加した。

狩野 舞子

バレーボール

〈東京都三鷹市出身〉

【訪問先】 東京都狛江市

【出場歴】 2012年 ロンドンオリンピック出場 銅メダル

チャレンジデーでは、トークショーに出演し、オリンピックの経について話した。参加者とともに、ストレッチも行った。

岡崎 朋美

スケート

〈北海道斜里郡清里町出身〉

【訪問先】 岩手県北上市

【出場歴】 2010年 バンクーバーオリンピック 出場 / 2006年 トリノオリンピック 出場
2002年 ソルトレークシティーオリンピック 出場 / 1998年 長野オリンピック 出場 女子500m 銅メダル
1994年 リレハンメルオリンピック 出場メダル

チャレンジデーでは、市内の商業施設や専門学校を巡回し、参加者とストレッチをしたり、運動の指導も行った。

著名人参加レポート

各自治体では、各方面で活躍するアスリート・著名人や、地元プロチームなどが参加しました。

個人：スポーツ選手

訪問先自治体	氏名	競技種目	所属リーグ・実績等
北海道苫前町	齋藤 星那	フットサル	エスポラーダ北海道イルネーヴェ（北海道女子フットサルリーグ）選手
北海道苫前町	前田 智美	フットサル	エスポラーダ北海道イルネーヴェ 元選手
青森県田子町	振分 精彦	相撲	東関部屋 親方（元小結 高見盛）
秋田県秋田市	加瀬 祐佳	ソフトテニス	世界ソフトテニス選手権 女子ダブルス 3位
秋田県羽後町	郡司 歩	プロレス	みちのくプロレス 選手
秋田県大仙市	谷口 大智	バスケットボール	秋田ノーザンハピネッツ（Bリーグ）選手
秋田県大仙市	菅澤 紀行	バスケットボール	秋田ノーザンハピネッツ 選手
秋田県三種町	田口 成浩	バスケットボール	秋田ノーザンハピネッツ 選手
秋田県三種町	水町 亮介	バスケットボール	秋田ノーザンハピネッツ 選手
秋田県三種町	高橋 憲一	バスケットボール	秋田ノーザンハピネッツ 選手
秋田県三種町	館山 健太	バスケットボール	青森ワッツ 選手（チャレンジデー 2016 開催日時点では秋田ノーザンハピネッツ所属）
秋田県三種町	本宮 隆良	マラソン	箱根駅伝 優勝
秋田県三種町	赤染 健	マラソン	箱根駅伝 出場
秋田県横手市	長谷川 誠	バスケットボール	秋田ノーザンハピネッツ ヘッドコーチ
埼玉県秩父市	田村 恵美		全国ラジオ体操連盟 指導委員
東京都小金井市	寺本 進	セパタクロー	仁川アジア競技大会 2014 日本代表
東京都小金井市	青木 沙和	セパタクロー	仁川アジア競技大会 2014 日本代表
神奈川県伊勢原市	長野 信一		全国ラジオ体操連盟 指導委員
神奈川県伊勢原市	猪狩 佑貴	サッカー	湘南ベルマーレ 元選手
神奈川県座間市	井上 尚弥	ボクシング	大橋ボクシングジム 世界スーパーフライ級 王者
神奈川県座間市	井上 拓真	ボクシング	大橋ボクシングジム 選手
神奈川県座間市	井上 浩樹	ボクシング	大橋ボクシングジム 選手
神奈川県座間市	安斉 雄虎	野球	横浜 DeNA ベイスターズ 元選手
神奈川県座間市	藤元 直美		全国ラジオ体操連盟 指導委員
岡山県赤磐市	竹田 麻衣	バレーボール	岡山シーガルズ（Vリーグ）選手
岡山県赤磐市	東 万純	バレーボール	岡山シーガルズ（Vリーグ）選手
岡山県赤磐市	近藤 沙織	バレーボール	岡山シーガルズ（Vリーグ）トレーナー
広島県竹原市	西口 広崇	バドミントン	フェスピック ダブルス金メダル・シングルス銅メダル
広島県竹原市	大内 寛文	ラグビー	リコーブラックラムズ 元選手
広島県竹原市	土井 康博	マラソン	1992年メルボルンハーフマラソン 55歳～59歳の部 優勝
大分県豊後大野市	MURRYPOLE	バレーボール	大分三好ヴァイセアドラー（Vリーグ）コーチ
大分県豊後大野市	小林 尚登	バレーボール	大分三好ヴァイセアドラー（Vリーグ）コーチ
大分県豊後大野市	細川 優樹	バレーボール	大分三好ヴァイセアドラー（Vリーグ）選手
大分県豊後大野市	高山 伸悟	バレーボール	大分三好ヴァイセアドラー（Vリーグ）選手
大分県豊後大野市	吉武 茂郎	フットサル	バサジィ大分（Fリーグ）監督
大分県豊後大野市	檜山 昇吾	フットサル	バサジィ大分（Fリーグ）選手

訪問先自治体	氏名	競技種目	所属リーグ・実績等
大分県豊後大野市	田中 優輝	フットサル	バサジィ大分 (Fリーグ) 選手
大分県豊後大野市	藤川 朋樹	フットサル	バサジィ大分 (Fリーグ) 選手
大分県豊後高田市	川崎 憲次郎	野球	東京ヤクルトスワローズ 元選手
大分県豊後高田市	笈篠 賢治	野球	東京ヤクルトスワローズ 元選手

団体：スポーツ関連

訪問先自治体	チーム名	競技種目	所属リーグ・実績等
青森県新郷村	青森ワッツ	バスケットボール	ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (Bリーグ)
青森県田子町	ヴァンラーレ八戸 FC	サッカー	日本フットボールリーグ (JFL)
青森県藤崎町	青森ワッツ	バスケットボール	ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (Bリーグ)
秋田県秋田市	ブラウブリッツ秋田	サッカー	J3 リーグ
秋田県秋田市	秋田ノーザンブレッツ	ラグビー	トップイーストリーグ Div.1
秋田県男鹿市	秋田ノーザンブレッツ	ラグビー	トップイーストリーグ Div.1
秋田県にかほ市	ブラウブリッツ秋田	サッカー	J3 リーグ
秋田県美郷町	秋田ノーザンブレッツ	ラグビー	トップイーストリーグ Div.1
秋田県由利本荘市	ブラウブリッツ秋田	サッカー	J3 リーグ
神奈川県開成町	湘南ベルマーレラグビーセブンズ	ラグビー	NPO 法人湘南ベルマーレスポーツクラブが運営する 7 人制ラグビーチーム
山梨県甲斐市	山梨クィーンビーズ	バスケットボール	バスケットボール女子日本リーグ (WJBL)
山形県米沢市	モンテディオ山形	サッカー	J2 リーグ
兵庫県豊岡市	NOMO ベースボールクラブ	野球	元大リーガー投手 野茂英雄氏が代表理事を務めるチーム
広島県北広島町	どんぐり北広島	ソフトテニス	地域密着型のクラブチーム
徳島県鳴門市	徳島インディゴソックス	野球	四国アイランドリーグ plus
徳島県鳴門市	徳島ヴォルティス	サッカー	J2 リーグ
長崎県大村市	V・ファーレン長崎	サッカー	J2 リーグ
沖縄県南城市	琉球ゴールデンキングス	バスケットボール	ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (Bリーグ)
沖縄県南城市	FC 琉球	サッカー	J3 リーグ

個人：スポーツ選手以外

訪問先自治体	氏名	備考
宮城県東松島市	やっべえ	NHK 仙台放送局のキャラクター
秋田県にかほ市	ケースケ&マサ	にかほ市出身のミュージシャン
秋田県にかほ市	超神ネイガー	にかほ市のご当地ヒーロー
秋田県由利本荘市	阿部十全	タレント
東京都狛江市	ダニエル・カール	タレント
神奈川県逗子市	SAM	TRF ダンサー
長野県東御市	三宅 良輔	日本体育大学体育学部体育学科 教授
愛知県扶桑町	北折 一	NHK「ためしてガッテン！」元担当ディレクター
大分県豊後高田市	高畑 こと美	女優

団体：スポーツ関連以外

訪問先自治体	団体名	備考
岩手県北上市	アンダーパス	岩手県出身の 2 人組からなる音楽ユニット
沖縄県石垣市	きいやま商店	石垣島出身アーティスト

チャレンジデー大使参加レポート

オリンピックやアスリートなどが「チャレンジデー大使」として、各自治体に赴き、参加者との交流を深めました。

伊藤 護さん

ラグビー

【訪問先】秋田県秋田市

プロスポーツ昭和50年会（※1）
元東芝ブレイブ・ルーパス
元ラグビー日本代表
國學院大學ラグビー部監督



秋田市で子供たちへの指導

吉武 真太郎さん

野球

【訪問先】山口県下関市

投手 国東高校 1993年ドラフト4位で福岡ダイエーホークス、
2006年12月読売ジャイアンツへ移籍
2008年引退 2011年から読売ジャイアンツのスカウト
通算登板319試合、30勝41敗、3試合連続無四球完投勝利(1997年)



野球教室でピッチングを披露

福留 宏紀さん

野球

【訪問先】福島県伊達市

プロスポーツ昭和50年会（※1）
内野手 享栄高校、1993年ドラフト4位でオリックス
2005年引退 通算打率182、HR6本
現在はさいたま市でバッティングドームの塾長&店長



野球部員にスローイングの指導

茂木 優さん

レスリング

【訪問先】秋田県由利本荘市

1974年、1975年全日本選手権を連覇
1976年モントリオール五輪に出場
秋田県内チャレンジデー大使（※2）



カダレで健康体操

利部 陽子さん

バレーボール

【訪問先】秋田県東成瀬村

1984年ロサンゼルス五輪銅メダル
秋田県内チャレンジデー大使（※2）



「みんな体操」に参加

石垣 寿美子さん

スキー

【訪問先】秋田県大館市

第93回（2015年）全日本スキー選手権大会
女子1.2kmスプリント 第1位
女子10kmフリー 第3位
秋田県内チャレンジデー大使（※2）



チャレンジデー開始式のラジオ体操

- （※1）「プロスポーツ昭和50年会」とは昭和50(1975)年生まれのプロ野球選手により、2004年に発足した親睦団体で、その後、プロ野球界だけに留まらず、全プロスポーツ界で活躍するアスリートによるスポーツを中心とした社会貢献を目指し活動しています。
2010年に笹川スポーツ財団と協力プログラム合意し、2016年は、伊藤護氏、吉武真太郎氏、福留宏紀氏の3名がチャレンジデーに参加しました。
- （※2）秋田県内チャレンジデー大使：秋田県内在住のオリンピック、アスリートにご協力をいただき、県内の各市町村にチャレンジデー大使としてご訪問いただきました。

チャレンジデー2016

IV. 自治体別の実施報告 (128 自治体)

CHALLENGEDAY

「スポーツで元気なまちづくり」

主 催

愛別町チャレンジデー実行委員会 (会長 前佛秀幸)
愛別町教育委員会
〒078-1493 北海道上川郡愛別町字本町 345 番地 1
TEL : 01658-6-5115 FAX : 01658-6-4187

結 果

人 口 : 3,040 人 北海道愛別町 ●
参加者数 : 1,918 人 VS
参加率 : 63.1% 沖縄県東村 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ポテトチャリティーパークゴルフ大会(きのこの里パークゴルフ場) 92 名
- ②あいべつ“ぶち”スポッチャ(愛別町農村環境改善センター) 64 名
 - ・あいべつ“ぶち”スポッチャは、全町民対象ですが子ども向けのイベントで、内容はストラックアウトや縄跳び、空き缶積み上げ等を行い、順位を競うイベントです。普段あまり運動していない子や小さい子でもできるような種目も取り入れました。少しでも運動の習慣化につながれば良いと思います。
- ③チャレンジデーミニバレー大会(愛別町 B&G 海洋センターアリーナ) 55 名
- ④早朝ラジオ体操(愛別町内 4 ヲ所) 53 名
- ⑤アクア運動教室(愛別町 B&G 海洋センター プール) 26 名

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／愛別町 B&G 指導者会

広報・周知

昨年に引き続き、愛別町内のほとんどの事業所にチャレンジデーの案内をし、職場単位でチャレンジデーに取り組んでいただけるよう PR しました。水曜日ということで日中仕事をしている方が多いので、その方々にも参加していただけるよう継続していきます。また、対戦相手が沖縄県東村ということで、参加報告者の中から抽選で沖縄県の特産品をプレゼントしました。とても喜んでいただきました。

製作物

チラシ 2,355 枚／ポスター 70 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 50 本／Tシャツ 40 枚

実施効果

チャレンジデーの日は、運動を 15 分以上するという意識が年々町民に浸透してきており、運動の習慣化とまではいかないが、運動の意識づけには良い効果があったと思います。今後も継続して取り組み、運動の習慣化、スポーツの推進に努めていきます。

担当者から

チャレンジデーは、運動の習慣化のきっかけづくりや健康づくり、地域の活性化を目的としておりますが、自治体対抗ということで町民にとっても愛別町を意識する素晴らしいスポーツイベントだと思います。小さい自治体だからこそできることを考え、継続して取り組んでいきたいと思っておりますので、SSF の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



あいべつ“ぶち”スポッチャ全体写真



あいべつ“ぶち”スポッチャ



フロア運動教室



ラジオ体操で汗を流す愛別町の参加者（町提供）

チャレンジデーに愛別、鷹栖、東神楽 楽しく運動参加率競う

【愛別、鷹栖、東神楽】競う「チャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団が、15分以上続けて運動に取り組んだ住民の参加率を）一斉に行われた。上川管内

中部では愛別、鷹栖、東神楽の3町が参加し、町民が楽しく体を動かした。

各町ともに町民に運動してもらおうと工夫し、催しなどを開催した。このうち愛別町では全町ラジオ体操、パークゴルフ大会、ミニバレー大会、恒例の空き缶積みなどが行われ、1918人が参加。参加率は63・1%だったが、対戦した沖縄県東村の67・0%に一步及ばなかった。

東神楽町ではごみを拾いながら歩く「クリーンウォーク」などが行われ、参加率は56・6%と岩手県大槌町の54・0%を上回った。鷹栖町も縄跳びイベントなどで参加を呼びかけ、参加率は3町で最も高い63・3%だったが、秋田県八郎潟町の73・4%を下回った。
（石橋治佳）

2016年5月28日 土曜日 北海道新聞

主 催

芦別市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 今野 宏)

芦別市教育委員会 体育振興課 体育振興係

〒079-1371 北海道芦別市上芦別町6

芦別市総合体育館内

TEL : 0124-24-2525 FAX : 0124-22-5807

結 果

人 口 : 14,940 人

北海道芦別市 ●

参加者数 : 5,244 人

VS

参加率 : 35.1%

神奈川県山北町 ○

取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

① 芦別版ミニチャレンジデー(市内全域) 1,158 人

- ・SSFが行うチャレンジデーの芦別版として、市内町内会および事業所を対象に実施しています。構成人員が同規模の町内会又は事業所を対戦相手に指定して、当日、15分以上運動した方の参加率を競うイベントです。

② みんなでラジオ体操会(市内14会場)(実行委員会主催9会場、自主開催5会場) 399人

③ 市民パークゴルフ場無料開放(市民パークゴルフ場) 108人

④ チャレンジ☆ウォーキング(本町・旭地区、なまこ山総合運動公園内) 25人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／ロータリークラブ／ライオンズクラブ／JA／文化連盟／観光協会／男女共同参画推進協議会／建設業協会

メディア

北海道新聞／プレス空知

広報・周知

広報紙、新聞折込チラシ、新聞報道、市公用車による市内巡回広報などを行いましたが、目に見える成果は得られていません。

製作物

チラシ7,190枚／ポスター100枚／大型横断幕1枚／のぼり130本／Tシャツ57枚／ポケットティッシュ5,000個

実施効果

少数ではありますがチャレンジデーを機に「毎日運動したい」という声があったほか、有志グループにて行われるウォーキングやラジオ体操など運動に対して積極的な取り組みが増えていると感じています。

担当者から

チャレンジデーの広報について、市広報紙、新聞折込チラシ、新聞報道、市公用車による巡回広報を行いましたが、チャレンジデーの認知度が低い状況です。回数を重ねることで地域住民に浸透していくものと考えますが、限られた予算の中で効果的な周知を図っていきたいと思います。当日のイベントについては、夕方以降に実施できるスポーツ大会の開催に向け関係団体と協議、検討を行い、報告方法については、参加者から気軽に報告をいただけるよう簡略化を図りたいと考えております。



ラジオ体操会 (メイン会場)



チャレンジ☆ウォーキング



ラジオ体操会

スポーツ参加競つ チャレンジデー

深川、芦別今年も参加

【深川、芦別】人口規模が同じ自治体が、スポーツに取り組んだ住民の参加率を競う「チャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団主催）に、中・北空知から今年も深川、芦別の両市が参加する。ともに神奈川県の町と対戦する。

毎年5月の最終水曜に行われ、今年は25日に全国128市町村が参加。15分間以上継続して運動した人数の人口に占める割合を競う。

深川市は神奈川県開成町を相手に4連勝を狙っている。400人以上が参加して市陸上競技場で行われる恒例の「スーパーママチャリレース」を始め、実行委や町内会などが約100種

2016年5月20日 金曜日 北海道新聞

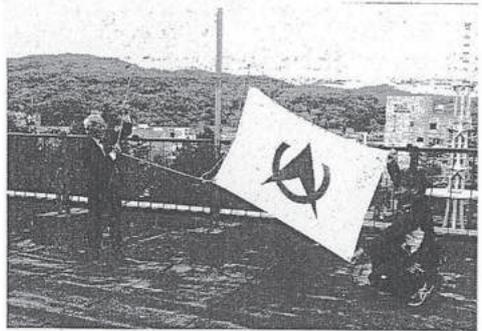
チャレンジデー完敗

芦別市山北町の町旗掲揚

【芦別】自治体同士が住民による15分間以上の運動参加率を競うチャレンジデー2016が25日、全国で一斉に行われた。5回目の参加となった芦別市は人口規模がほぼ同じ神奈川県山北町と対戦。同日午前9時過ぎには今野宏市長と山北町の

湯川裕司町長が携帯電話でエール交換した。対戦結果は人口1万4940人の芦別市が5244人の参加で、35.1%の参加率。一方、人口1万1111人の山北町は、6622人の参加で参加率は59.6%を記録し、芦別市に勝利。ルールに

のっとり、今野市長が26日午前8時半に庁舎屋上にあるポールに、山北町の町旗を掲揚した。今野市長は「昨夜9時過ぎに湯川町長から電話が入ったが、閉会イベント会場で参加町民の湧きあがる声がし、驚いた。芦別はあいに皇朝に雨が降り、6時からラジオ体操参加者の減が結果に響き最後まで挽回できなかった。来年こそはがんばって勝利したい」と敗北の弁を述べた。山北町の町旗掲揚期間は5月1日までの1週間。



2016年5月28日 土曜日 プレス空知

全国一斉チャレンジデー

市民総参加で勝利を

芦別市 神奈川県山北町と対戦



【芦別】住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2016」（用スポーツ財団主催）が25日、全国一斉に自治体で実施される。今年も芦別の参加自治体で、当日は山北町と対戦する。市は、市民ハイクゴルフ場を無料開放する。市内の同規模の事業者同士が競う「芦別版ミニチャレンジデー」も実施する。当日は今野宏市長と山北町の湯川裕司町長が電話でエール交換を行う。問い合わせは同市教委体育振興課 ☎0124・24・2505へ。

（関口潤、池田祥）

【芦別】住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2016」（用スポーツ財団主催）が25日、全国一斉に自治体で実施される。今年も芦別の参加自治体で、当日は山北町と対戦する。市は、市民ハイクゴルフ場を無料開放する。市内の同規模の事業者同士が競う「芦別版ミニチャレンジデー」も実施する。当日は今野宏市長と山北町の湯川裕司町長が電話でエール交換を行う。問い合わせは同市教委体育振興課 ☎0124・24・2505へ。

（関口潤、池田祥）

2016年5月21日 土曜日 プレス空知

主 催

枝幸町チャレンジデー実行委員会 (会長 村上守樹)
枝幸町役場保健福祉課保健予防グループ
〒098-5892 枝幸郡枝幸町本町916番地
TEL: 0163-62-4658 FAX: 0163-62-3353

結 果

人 口: 8,572 人 北海道枝幸町 ●
参加者数: 3,638 人 VS
参加率: 42.4% 秋田県小坂町 ○
取得メダル: 銀

プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①子育て講座「親子で踊ろうカニサンバ」(枝幸地域子育て支援センター) 34人
- ②カラダばかばか春の運動教室(枝幸町中央コミュニティセンター、歌登 B&G 海洋センター) 26人
 - ・冬場の運動不足解消に行った運動教室を、チャレンジデーに合わせて1日限定で開催しました。2地区の会場で、約4カ月ぶりに集まった方や初めて参加された方が、インストラクターの指導のもと心地よい汗をかきました。
- ③ニュースポーツ体験(枝幸町総合体育館) 23人
- ④ふまねっと(枝幸町総合体育館 研修施設) 22人
- ⑤北幸公園ごみ拾いウォーキング(北幸公園) 17人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/国保担当部署/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ

メディア

日刊宗谷/北海道新聞/ EOS

広報・周知

- ・チャレンジデーの前日・当日に、参加を促す内容の、音声告知放送を各家庭に流しました。
- ・ケーブルテレビ「EOS」で、チャレンジデーに関する番組を2つ制作し、2週間ずつ流しました。来年の参加を促すために、結果についても後日番組を制作し流しました。
- ・前日の朝刊で当日のイベントや報告用紙のついたチラシを配布しました。

製作物

チラシ 8,350 枚/ポスター 150 枚/大型横断幕 1 枚/Tシャツ 40 枚/クリアファイル 1,000 枚

実施効果

- ・参加した個人や団体(学校、施設、事業所等)は、日常の生活の中で体を動かすことを意識できました。また、運動のきっかけづくりの一助となりました。

- ・勝敗がかかったことで、町民同士声を掛けあったり、地区で参加したり、枝幸町民として参加する一体感を感じることができました。
- ・チャレンジデーを実施するという一つの目的に向かい、実行委員会メンバーが取り組めたことで、今後の運動事業を行う上で、よい経験になりました。

担当者から

初めての実施であり、どのぐらいの参加数を得られるか不安でした。しかし、学校関係、建設関係など団体での参加協力を得ることができ、対戦相手には負けてしまいましたが、予想以上に多くの参加につながりました。年齢に関係なく町民が一つの目標に向かって取り組むことができた結果だと思えます。

運動習慣のある人が増えることを願い取り組んでいます。チャレンジデーを通して運動のきっかけづくりを続けていきたいと思えます。



カラダばかばか春の運動教室



子育て講座「親子で踊ろうカニサンバ」

住民のスポーツ参加割合競争
チャレンジデー
枝幸町が初参加



エール交換で意気込みを語る
村上町長

【枝幸】町は25日に全国で行われる自治体対戦型の住民参加のスポーツイベント「チャレンジデー」に初めて参加する。村上守継町長は、対戦相手となる秋田県小坂町の細越満町長と、インターネットのテレビ電話を通じてエール交換を行った。

イベントは笹川スポーツ財団が主催し、今年は今全国130市町村が参加する。人口規模が似ている自治体同士が、午前0時から午後9時までに15分以上運動し

2016年5月13日 金曜日 北海道新聞

残念僅か及ばず



ゲートボールに汗する町民たち

【枝幸】全一斉住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に初参加の枝幸町。開催日の25日は町内各地で様々なスポーツに爽やかな空気を流した。人口規模の近い市町村同士が1日15分以上、運動やスポーツをした人数（参加率）を競うチャレンジデー。枝幸町の対戦相手は秋田県小坂町。人口5千480人で昨年は参加率62%、金メダルを獲得している。

チャレンジデーのスタートを切ったのは生憎小雨の降る中ではあったが、中央コミセン前でラジオ体操会。枝幸ゲートボール協会。第26回枝幸町長杯ゲートボール大会。このほか、北幸公園ゴミ拾いウォーキングや運動教室、ノルディックウォー

キングス、ふまねっと参加型スポーツ体験会「チャレンジデー2016」に初参加の枝幸町。開催日の25日は町内各地で様々なスポーツに爽やかな空気を流した。人口規模の近い市町村同士が1日15分以上、運動やスポーツをした人数（参加率）を競うチャレンジデー。枝幸町の対戦相手は秋田県小坂町。人口5千480人で昨年は参加率62%、金メダルを獲得している。

チャレンジデーのスタートを切ったのは生憎小雨の降る中ではあったが、中央コミセン前でラジオ体操会。枝幸ゲートボール協会。第26回枝幸町長杯ゲートボール大会。このほか、北幸公園ゴミ拾いウォーキングや運動教室、ノルディックウォー

2016年5月27日 金曜日 日刊宗谷

相手は小坂町 秋田県

枝幸町チャレンジデーに参戦

【枝幸】5月25日に全一斉で行われる住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に、枝幸町は実行委員会（会長村上守継町長）を立ち上げ、今年から参加する。同日の町民の多くの参加協力を呼び掛けている。

チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日に世界中で開催されるスポーツイベント。人口規模の近い市町村同士が1日15分以上、運動

やスポーツをした人数（参加率）を競うもので、対戦相手に負けた自治体は相手の市町村旗を役場に1週間掲げて勝者を称えるもの。開催日当日の午前0時から午後9時までに町内であれば、何時でも、何処でも、誰でも参加できる。個人や団体問わず、ラジオ体操でも散歩やウォーキング、通勤・通学、買物等の徒歩や自転車、部活や習い事、筋トレ・

ストレッチもOKの自己申告制。

今回、全国で130自治体が参加。枝幸町の対戦相手は秋田県小坂町。小坂町は人口5千480人で昨年は62%の参加率。当日は午前6時30分からのラジオ体操会や午前10時から午後1時から北幸公園ゴミ拾いウォーキング、カラダほかほかの運動教室（午後1時30分歌登B&G海洋センター、午後6時30分まで。

中央コミセン）申込み20日まで、ノルディックウォーキング（午後1時カモメアリーナ）、ふまねっと（午後1時総合体育館）、ニュースポーツ体験会（午後5時総合体育館）を開催する。さらに、当日は総合体育館を無料開放のほか、EOSの健康体操として毎朝午前6時45分から放送している「生活の中でできるストレッチ＆筋力トレーニング」の放送回数を増やす。

詳細、申込み、問合せは同実行委事務局の町役場保健福祉課健康予防G（62-46580）まで。

2016年4月20日 水曜日 日刊宗谷



ふまねっと

主 催

標津町チャレンジデー実行委員会 (会長 金澤 瑛)

標津町教育委員会

〒086-1652 北海道標津郡標津町南二条西4丁目

標津町総合体育館

TEL : 0153-82-3112 FAX : 0153-82-2098

結 果

人 口 : 5,361 人

参加者数 : 4,157 人

参加率 : 77.5%

取得メダル : 金

北海道標津町 ○

VS

山梨県南部町 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジラジオ体操(事業所、保幼小中高校、各家庭) 3,033 人
・早朝の部 午前6:30から町内2カ所でNHKラジオ体操に合せて実施します。
・午前10時と午後3時に町行政防災無線でラジオ体操を放送するほか状況放送も行います。毎年殆どの事業所や学校でこれを利用しています。
- ②エンジョイウォーキング(町内各所) 479 人
- ③ソフトバレーボールの集い(総合体育館、川北体育館) 121 人
- ④卓球の集い(総合体育館、川北体育館) 87 人
- ⑤ミニテニス交流会(総合体育館) 44 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/総務担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/小学校(校長会)/中学校(校長会)/事業所・企業/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/PTA 連合会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/飲食店組合/建設業協会/観光協会/水産加工振興会

メディア

北海道新聞/釧路新聞/町広報

広報・周知

従来、事業所や商店等に事前PRで周知に出向いていましたが、数年前より農家(約150軒)もくまなく回り、PRに努めています。さらに各町内会総会にも出向いて参加のお願いをしています。

製作物

チラシ2,800枚/ポスター150枚/横断幕(その他)1枚/のぼり55本/Tシャツ80枚/ポケットティッシュ1,000個/

実施効果

- ・日常生活の中で、運動・スポーツの実践の大切さについての啓発を図ることができました。
- ・自分の健康は自分が守る(ヘルスプロモーション)という啓発も

図られ、運動やスポーツが生活の質(QOL)の向上に果たす役割を実感し、継続の大切さを認識することができました。

- ・町民が一つの目標に向かって同じ気持ちになり、仲間意識や連帯感が醸成され、地域アイデンティティの形成に役立つことができました。
- ・わが町のPRが図られ、地域に誇りを持つ郷土愛の醸成につなげることができました。

担当者から

- ・今回で9回目の実施になりましたが、チャレンジデーの素晴らしさを今後のスポーツ振興(点から線への広まり)につなげていくことが課題であると感じています。
- ・近隣市町にもPRし、チャレンジデーに参加する仲間を一層広げていきたいと感じています。



卓球の集い



健康美人塾エアロビクス



チャレンジラジオ体操早朝の部

あすスポーツ
チャレンジデー

【標津】運動に取り組んだ住民の割合を自治体間で競う「スポーツチャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団主催）が25日、全国各地で行われる。

住民参加型のイベントで、今年は全国128の自治体が参加。根釧管内で唯一参加する同町は、今年で9回目となり、対戦相手は出場4回目の山梨県南部町。早朝から午後9時までの間に15分以上運動すると参加と見なされ、その割合で勝敗を決める。当町は、ラジオ体操やパークゴルフ、ヨーガ教室など、多彩なスポーツイベントが企画されており、町総合体育館は参加を呼び掛けている。チャレンジデー参加は、事前登録していなくても当日申請可能。町外在住者が標津町内で運動してもカウントされる。問い合わせは同体育館0153（82）3112へ。（原田未央）

2016年5月24日 火曜日 釧路新聞

スポーツチャレンジデー 標津町 参加率77.5%を記録

カテゴリー2で
3年連続トップ

【標津】運動に取り組んだ住民の割合を自治体で競う「スポーツチャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団主催）が25日、全国各地で行われ、標津町が参加率77.5%を記録し、対戦相手の山梨県南部町（55.9%）を下した。今回は全国の128自治体がエントリーし、標津町は9回目、南部町は4回目の参加。各種競技やストレッチ、ウォーキングなど15分以上の運動が対象となり、標津町内では、早朝からラジオ体操やミニテニス、パークゴルフ、ヨーガ教室など多彩なスポーツイベントが催された。標津町は昨年に比べ6.8%減となったものの、18自治体が出場したカテゴリー2（人口5000〜1万人未満）で、3年連続となるトップに輝き、9回連続の金メダルを獲得。対戦形式をとらなかった2011年を除き、標津町の戦績は6勝2敗になった。町総合体育館の担当者は「職場での取り組みや夜間の参加など、地域への浸透を感じる。町民の意識づくりのため、来年以降も参加していきたい」と話している。（原田未央）



フロアカーリングを楽しむ子ども（標津町役場提供）

2016年5月31日 火曜日 釧路新聞

スポーツチャレンジデー

標津が8年連続 参加率全道1位

【標津】特定の日に運動をした住民の割合を自治体同士で競う「スポーツチャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団主催）が開かれ、標津町は参加率77.5%と、8年連続で道内1位を記録した。人口5千人〜1万人以下の自治体が対象の「カテゴリー2」内でも、参加率61%を超えた自治体に贈られる「金メダル」を9年連続受賞した。

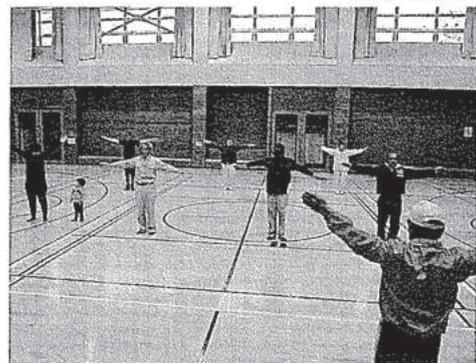
5月25日に実施され、全国で128自治体、道内からは16自治体が参加した。標津町の参加は9回目。あいにくの雨に見舞われたが、町民らは早朝ラジオ体操やパークゴルフなど屋外運動も行った。町では4157人が運動を楽しんだ。

無作為に決められた対戦相手と競うプログラムでも山梨県南部町（55.9%）に勝利した。事業を担当する町総合体育館の林良彦さん

77.5% 山梨・南部町破る

は「健康づくりだけではなく、町づくりや地域おこしにもつながる。今年も多くの人が参加してくれて良かった」と話した。

（樋口雄大）



ラジオ体操で汗を流す町民（町総合体育館提供）

2016年6月2日 木曜日 北海道新聞

主 催

知内町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 大野幸孝)

知内町教育委員会社会教育課スポーツ振興係

〒049-1103 上磯郡知内町重内 21 番地 1

知内町スポーツセンター

TEL : 01392-5-6856 FAX : 01392-5-6857

結 果

人 口 : 4,665 人

参加者数 : 2,673 人

参加率 : 57.3%

取得メダル : 銀

北海道知内町 ○

VS

沖縄県伊江村 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)① **チャレンジラジオ体操** (知内町民センターおよび各町内会館) 505 人

- 町内会を通じ参加者が集まりやすく、高齢者でも気軽にできることから、ラジオ体操をメインに考えました。町内全 13 町内会のうち、町民センターに近い 3 町内会は町民センターに、その他 10 町内会は各町内会館に参集し実施しました。

② **チャレンジパークゴルフ大会** (知内町パークゴルフ場) 29 人③ **チャレンジゲートボール大会** (知内町ゲートボールパーク) 25 人④ **野球交流** (知内町しおさい野球場) 21 人⑤ **ミニバレーボール交流** (知内町スポーツセンター) 13 人**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 幼稚園・保育園 / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会 / 農業協同組合 / 漁業協同組合

広報・周知

町内で開催される会議等、人が集まる場に出向いて PR を実施したところ、チャレンジデーのことを初めて聞く人も多く、興味・関心を持ってもらうことができました。事業所訪問の際、偶然見つけた作業現場にも協力依頼したところ、快く協力してくれました。また、町内会・事業所等にラジオ体操用 CD を配布しました。

製作物

チラシ 1,130 枚 / ポスター 3 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 20 本 / Tシャツ 160 枚

実施効果

子どもからお年寄りまで、住民の誰もが気軽に参加できるイベントということもあり、初実施にもかかわらず、たくさんの参加をいただいたことで、住民の一人一人が同じ目標に向かって進む姿に、町の一体感を感じました。また、その手軽さから、普段、体を動かさない人にとっても、体を動かすいいキッカケになったと

思います。初実施ということで、まだまだ浸透していない部分もありますが、今後もチャレンジデーに参加する際には、周知・PR の仕方を工夫しさらなる参加者増を目指しながら、健康で元気な町民づくりに取り組みたいと思います。

担当者から

この事業を担当して、人を動かすことの難しさを感じました。個人に対する周知・PR が足りず、チャレンジデーの細かいルール等、理解してもらえず、参加につながらなかった部分もあり、チャレンジデーのことを知ってもらう、興味・関心を持ってもらい、参加につなげるためには、みずから町中に出向くことが大事だと思いました。



野球交流



ラジオ体操



ミニバレーボール交流

スポーツ対決 エール交換

知内 来月25日にチャレンジデー

【知内】住民が絵参加して各種スポーツに取り組み、その参加率を人口規模がほぼ同じ1つの自治体と競い合う国内最大イベント「チャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団主催）が5月25日、全国1300の市町村で開催される。初参加する知内町の大野幸町長は15日、対戦相手となる沖縄県伊江村（参加2回目）の島袋秀幸村長と電話でエールを交換した。（斎藤彰也）



沖縄県伊江村の島袋村長と電話でエール交換する大野町長

町長が沖縄・伊江村村長と

チャレンジデーは1983年にカナダで始まった世界的なスポーツイベント。日本では93年から始まり、現在は毎年5月の最終水曜日に全国各地で行われている。昨年は1300市町村で277万人が参加した。ルールは、イベント当日の午前0時から午後9時の間に、15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率（人口に対する参加者の割合）を対戦自治体と競い合う。ジョギングやラジオ体操、バレーボール、サッカー、パークゴルフなど運動・スポーツの種類は問わない。

伊江村は参加率3.5%を目標に、運動・スポーツの日常化と健康的なまちづくりを目指している。この日は互いの町と村の魅力を紹介した後、大野町長は「北と南の対決は大変光栄。初めての参加だが、住民が今後もスポーツや運動を気軽に親しめるよう、お互いに頑張りましょう」と話した。島袋村長も「参加は2回目だが今回も楽しく頑張る。スポーツと運動を通じ、両自治体とも健康とまちづくりを励みましよう」と健闘を誓い合った。

2016年4月18日 月曜日 函館新聞

チャレンジデー 健闘誓う

知内町長 対戦相手とエール交換



沖縄県伊江村の島袋村長と電話でエール交換する大野町長

【知内】5月25日に開かれる住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に初参加する知内町の大野幸町長が15日、対戦相手である沖縄県伊江村の島袋秀幸村長と電話でエール交換を行い、互いの健闘を誓い合った。

笹川スポーツ財団主催のチャレンジデーは、人口規模がほぼ同じ自治体同士が午前0時～午後9時に15分以上運動した住民の割合を競い合う全国イベント。今回は全国1300自治体が参加する。この日のエール交換で大野町長が「町民みんなでスポーツを頑張りたい。お互い頑張りましょう」と述べると、島袋村長は「スポーツを通じて健康づくりを進めましょう」と応じた。人口約4650人の知内町は、60%の参加率を目標にしている。（菊池圭祐）

2016年4月19日 火曜日 北海道新聞

主 催

新得町チャレンジデー実行委員会 (委員長 浜田正利)
 新得町教育委員会 社会教育課
 〒 081-0014 北海道上川郡新得町 4 条南 4 丁目
 新得町公民館内
 TEL : 0156-64-0532 FAX : 0156-64-5880

結 果

人 口 : 6,339 人 北海道新得町 ●
 参加者数 : 3,956 人 VS
 参加率 : 62.4% 秋田県八峰町 ○
 取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① **チャレンジラジオ体操**(新得小体育館、公民館、屈足総合会館) 269 人
 - ・ 町内 3 ヲ所の会場で、朝のラジオ体操とストレッチなどの柔軟体操を実施しました。
 - ・ 今年は朝から雨天で、屋外から体育館等の室内に会場を移動して実施しています。
- ② **パークゴルフ交流**(新得運動公園パークゴルフコース、サホロリバーサイドパークゴルフ場、屈足公園パークゴルフコース) 95 人
- ③ **ビーパー** 12 時間駅伝(町営温水プール) 65 人
- ④ **ミニバレー交流**(新得小体育館、屈足南小体育館、旧上佐幌小体育館) 57 人
- ⑤ **ゲートボール交流**(新得市街屋内ゲートボール場、佐幌農業会館ゲートボール場) 37 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／健康づくり担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／子ども会／観光協会／農協

メディア

十勝毎日新聞

広報・周知

各事業所への訪問やダイレクトメールで呼びかけたため、事業所からの報告が増加しました。
 その他、広報、チラシ、ティッシュ配り、懸垂幕での周知を実施しています。
 保健福祉部署と連携し、「健康ポイントラリー」(運動や健康診断受診、予防活動) を取り組んでいます。

製作物

チラシ 12,000 枚／ポスター 70 枚／横断幕(その他) 1 枚／のぼり 40 本／懸垂幕 2 枚／Tシャツ 102 枚／ポケットティッシュ

3,000 個／タオル 1,400 枚／クリアファイル 1,000 枚

実施効果

チャレンジデーをきっかけとして、体力づくりや健康に関する意識が広がっているところです。

「チャレンジデー」だからということで、社会体育担当者そして保健福祉部署担当者ともに、積極的に体力づくり・健康づくりをアピールできる場となっています。

福祉部署と連携し、健康づくりのきっかけとして「健康ポイントラリー」に取り組んでいます。これは体力づくりや健康づくり、健康診断など 4 項目をクリアして、町内の商品券をプレゼントするもので、健康づくりに楽しく取り組めるよう実施しています。

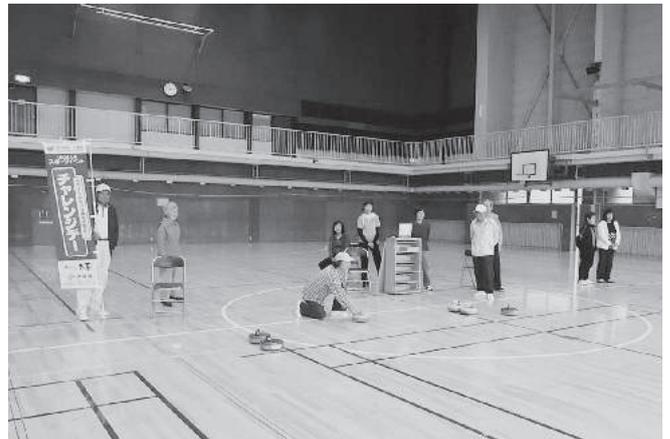
担当者から

本町は 6 回目の実施と、すっかり町民に定着した感のあるチャレンジデー、今年も多くの方から励ましの声をいただいたこと、町民同士でチャレンジデーの声かけをしていただき、住民同士の連携も進んでいることが良かったと考えております。

お互いに声を掛け合い、楽しみながら健康づくりができることを、今後も続けていきたいと思ひます。



朝からチャレンジラジオ体操



新得発祥フロアカーリング交流



跳べた! 「思いっきりジャンプ!」。小・中学生9人が参加したトランポリン体験教室(幕別・十勝トランポリンスタジアムで、眞尾敦撮影)



真剣 テニスと卓球を融合させた「テニボン」に挑戦する町民。経験者から打ち方を学んで体験した(芽室町総合体育館で、深津慶太撮影)

新得、本別、幕別、芽室 チャレンジデー奮闘

スポーツ熱く

【新得・本別・幕別・芽室】同規模の自治体同士が住民の運動参加率を競う世界的な対戦型イベント「チャレンジデー2016」(毎川スポーツ財団主催)が25日、二斉に行われた。管内では今年も4町が、参加。当日、町民が各町の特色を生かしたさまざまなスポーツに取り組んだ様子を写真で紹介する。



「的を狙って!」。新得町発祥のフロアカーリングで交流した(新得町民体育館で、小寺泰介撮影)



ファイナルイベントの「ディスコン」。職場や仲間グループなどから約50人が参加した(本別町中央公民館で、鈴木裕之撮影)

狙い定めて

2016年5月31日 火曜日 プレス空知

町長エール交換

チャレンジデー

新得町と秋田・八峰町

八峰町長と電話でエール交換する
浜田町長



【新得】住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2016」の開催を25日に控え、浜田正利町長は20日、対戦相手の秋田県八峰(はつぽう)町(人口7621人、3月末現在)の加藤和夫町長と電話でエール交換した。チャレンジデーは人口が同等規模の2自治体が15分以上スポーツや健康づくりをした住民の参加率を競う。新得は6年目、八峰は

3年目の参加。浜田町長はエール交換の中で「これを縁にまちの交流が深まればと呼び掛け、加藤町長は「私たちが同じ気持ちで頑張りたい」と応じ、互いに健闘を誓い合った。また、浜田町長は町の概要の他、第22回日本では博覧会イン十勝新得町(9月19、25日)もPRした。新得の昨年の参加率は63・7%で、鹿児島県南大隅町に勝利している。これまでの対戦成績は3勝2敗。(小寺泰介)

2016年5月30日 月曜日 北海道新聞



骨盤からリフレッシュ講座

主催

鷹栖町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 谷 寿男)
教育課

〒071-1292 北海道上川郡鷹栖町南一条3丁目5番1号
TEL: 0166-87-2028 FAX: 0166-87-2850

結果

人口: 7,194人
参加者数: 4,551人
参加率: 63.3%
取得メダル: 金

北海道鷹栖町 ●
VS
秋田県八郎潟町 ○

プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①全町一斉ラジオ体操(総合体育館ほか町内全7ヵ所) 212人
 - ・一番多くの人参加しやすい時間帯で、気軽に参加できるラジオ体操を6:30のラジオ放送にあわせて、町内全7ヵ所で一斉に行っていて、ボランティア協力者も一番多いプログラムとなっています。
 - ・さらにチャレンジデーの次週から毎週水曜日計8回、5ヵ所での朝のラジオ体操会を開いています。
 - ・この活動を通じて、健康づくりの大切さに気付き、住民同士の交流の場の提供、健康づくりの習慣化の定着も狙っています。
- ②コーディネーショントレーニング(鷹栖地区住民センター/B&G 海洋センター) 84人
- ③ペアなわとびイベント(総合体育館) 60人
- ④空き缶積み上げ(総合体育館) 56人
- ⑤オレンジテスト(サンホールはびねす) 31人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/幼稚園・保育園/小学校(校長会)/中学校(校長会)/高等学校/特別支援学校/社会福祉協議会

メディア

旭川ケーブルテレビ

広報・周知

「生涯元気」を合言葉に、チャレンジデーを「健康づくりの大切さに思いをはせる1日」として位置づけ、あらゆる場面で町民と顔を合わせて周知活動を行ったことで、広く健康への意識付けを図ることが出来ました。

チャレンジデー推進委員を各事業所に依頼し、Tシャツを配布し社員を通じて周知活動のご協力をいただいたところ、事業所の参加率の上昇につながりました。

製作物

チラシ10,600枚/ポスター150枚/大型横断幕1枚/横断幕(その他)4枚/のぼり50本/Tシャツ60枚/ポケットティッシュ

900個/ポロシャツ26枚/ボールペン1,400本

実施効果

5月の開催がどうしても町の農繁期に重なるという課題が毎年出ていたところ、町民の関心の高まりもあり、周辺町で独自に「秋のチャレンジデー事業」を3年連続で実施する運びとなりました。

「3年連続の金メダル」という、シンプルな目標をテーマに出来たことも、参加意欲の刺激につながったと思います。より一層盛り上がり、意義深いイベントとすることを目指し、町長、教育長みずからが、近郊の市町村に参加を呼び掛けるなど、圏域一体となった事業展開を目指しています。

担当者から

町民の方に「健康づくりの大切さに思いをはせていただく1日」と位置づけ、生涯元気を合言葉にチャレンジデーの取り組みを継続しています。今後も気軽に参加できるイベントを増やし、健康づくりの習慣化の定着を狙った事業を進めていきたいです。

本町では、対戦形式やチャレンジデーへの関心を高めることをねらいに、対戦自治体の特産品を抽選賞品とする取り組みを行いました。相手自治体への理解と関心を高める交流にもつながりますので、対戦自治体の特産品を記念品とする場合に限り、助成金対象経費としていただけないでしょうか。



空き缶積み上げ(総合体育館)



コーディネーショントレーニング(高齢者向け)



ラジオ体操で汗を流す愛別町の参加者（町提供）

チャレンジデーに愛別、鷹栖、東神楽 楽しく運動参加率競う

【愛別、鷹栖、東神楽】人口規模の近い自治体同士が、15分以上続けて運動に取り組んだ住民の参加率を

競う「チャレンジデー20

16」（笹川スポーツ財団など主催）が25日、全国で一斉に行われた。上川管内

中部では愛別、鷹栖、東神楽の3町が参加し、町民が楽しく体を動かした。

各町ともに町民に運動してもらおうと工夫し、催しなどを開催した。このうち愛別町では全町ラジオ体操、パークゴルフ大会、ミニバレー大会、恒例の空き缶積みなどが行われ、1918人が参加。参加率は63・1%だったが、対戦した沖縄県東村の67・0%に一步及ばなかった。

東神楽町ではごみを拾いながら歩く「クリーンウォーク」などが行われ、参加率は56・6%と岩手県大槌町の54・0%を上回った。鷹栖町も縄跳びイベントなどで参加を呼びかけ、参加率は3町で最も高い63・3%だったが、秋田県八郎潟町の73・4%を下回った。

（石橋治佳）

2016年5月28日 土曜日 北海道新聞



ラジオ体操（本田技術研究所）

主催

苫前町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 森 利男)

苫前町教育委員会 社会教育課 文化スポーツ係

〒 078-3621 北海道苫前郡苫前町古丹別 187-15

苫前町公民館

TEL : 0164-65-4076 FAX : 0164-65-3220

結果

人口 : 3,321 人

参加者数 : 1,891 人

参加率 : 56.9%

取得メダル : 銀

北海道苫前町 ●
 VS

岡山県新庄村 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①朝のラジオ体操にチャレンジ(23日~25日 3日間)(苫前小学校前)のべ149人

- ・苫前、古丹別地区で、住民の誰もが気軽に継続的にスポーツに親しめる拠点づくりに繋げるために、偏っていたプログラムの地区をイコールコンディションにし、ラジオ体操、玉入れ選手権、体育協会の協力によるスポーツ体験の機会を提供しました。

②スポーツ体験ちょこっと!ちょこっと!!(苫前町スポーツセンター)132人

③朝のラジオ体操にチャレンジ(23日~25日 3日間)(苫前町公民館前)のべ89人

④苫前町玉入れ選手権大会(苫前町スポーツセンター(11チーム))73人

⑤苫前町玉入れ選手権大会(苫前小学校前(7チーム))44人

【アスリート・著名人など】

斎藤星那、前田智美(エスポラーダ北海道イルネーヴェ・北海道女子フットサルリーグ2部)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/福祉担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/小学校(校長会)/中学校(校長会)/事業所・企業/商工会・青年会議所/青少年健全育成組織/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ

メディア

北海道新聞/留萌新聞/羽幌タイムス新聞

広報・周知

さくらまつりのイベントや、防災無線放送、町内の広報車でのPRは良いことも悪いことも紙面やHPの周知よりも反応があり、事務局としてはやりがいがありました。また、地域の新聞へは、丁寧に思いを直接伝えることにより、最大限にPRをしてもらいました。

製作物

チラシ1,230枚/ポスター100枚/大型横断幕3枚/横断幕(その他)3枚/のぼり30本/Tシャツ190枚/新庄村ポストカード200枚

実施効果

地区に独居老人1人しかいない地区が複数ありますが、全町的に行われる選挙では年齢が限られており、お金を掛けずに実施できる特徴があるチャレンジデーは、1人1人の参加が参加率に反映するため、住民みんなが主役になれ、参加率により自信に繋がるメリットがあり、「健康づくり」「参加」のために、苫前、古丹別地区で住民の誰もが気軽に継続的にスポーツに親しめる拠点づくりに繋がりたいと考えています。

担当者から

住民の健康づくりの運動習慣のきっかけ、元気なまちを目指す苫前町のチャレンジデーですが、住民の一体感を育み深めることのできる事業であるとともに、一過性のイベントに終わらないための、その後に繋げる取組が必要となっています。



古丹別保育所サッカー教室



生きがいデイサービス

〓チャレンジデー2016〓

参加率56.9%、新庄村に及ぼす

ラジオ体操、鬼ごっこ、玉入れ選手権

【苦前】チャレンジデー2016が二十五日、全国一斉に繰り広げられた。十四回目の参加となる苦前町は、岡山県新庄村と三度目の対戦。早朝のラジオ体操、玉入れ選手権などに汗を流したが、新庄村の参加率を下回って、通算では苦前町の一勝一敗となった。毎年五月の最終水曜日に、人口が同規模の自治体間で、午前零時から午後九時まで、十五分以上継続してスポーツ、運動を行った住民の参加率を競うチャレンジデー。対戦相手に敗れると、相手の自治体の旗を庁舎に掲げるというユニークなルールを設ける。カナダで1983年に始まった。日本では笹川スポーツ財団をコア・パートナーに行われている。今回は、128自治体、約29万人がスポーツなど



家族揃って早朝のラジオ体操(上)、保育園のちびっかも元気に参加(下)

にチャレンジ、平均参加率は54.3%だった。苦前町は5千人未満のカテゴリーで、岡山県新庄村と対戦した。苦前町ではチャレンジデー前の二十三日から始めた早朝ラジオ体操、園児の体操やマラソン、児童の鬼ごっこ、デイサービスの体操、社協のカリコン、リアル野球盤、ストリートテニス、卓球、カーリング体験、エスポラーザ北海道イルミネーション選手も参戦した玉入れ選手権などが行われた。

スポーツ参加率競う「チャレンジデー」25日

苦前町「勝利を」集え町民

岡山県新庄村と3度目対戦

【苦前】町は、25日に行われるイベント「チャレンジデー2016」に14年連続で参加する。全国の自治体同士が住民のスポーツ参加率を競うもので、今年の対戦相手は岡山県新庄村。過去2回対戦して1勝1敗の互角の戦いを繰り広げており、ぜひ勝利を」と住民の参加を呼び掛けている。

苦前町は、25日に行われるイベント「チャレンジデー2016」に14年連続で参加する。全国の自治体同士が住民のスポーツ参加率を競うもので、今年の対戦相手は岡山県新庄村。過去2回対戦して1勝1敗の互角の戦いを繰り広げており、ぜひ勝利を」と住民の参加を呼び掛けている。

苦前町は、25日に行われるイベント「チャレンジデー2016」に14年連続で参加する。全国の自治体同士が住民のスポーツ参加率を競うもので、今年の対戦相手は岡山県新庄村。過去2回対戦して1勝1敗の互角の戦いを繰り広げており、ぜひ勝利を」と住民の参加を呼び掛けている。

苦前町は、25日に行われるイベント「チャレンジデー2016」に14年連続で参加する。全国の自治体同士が住民のスポーツ参加率を競うもので、今年の対戦相手は岡山県新庄村。過去2回対戦して1勝1敗の互角の戦いを繰り広げており、ぜひ勝利を」と住民の参加を呼び掛けている。



スポーツセンターでは玉入れやバドミントン

2016年5月27日 金曜日 羽幌タイムス



苦前保育園綱引

2016年5月22日 日曜日 北海道新聞

主 催

名寄市チャレンジデー実行委員会 (会長 加藤剛士)
健康福祉部こども・高齢者支援室
〒096-8686 北海道名寄市大通南 1-1
TEL: 01654-3-2111 FAX: 01654-9-2089

結 果

人 口: 28,614 人 北海道名寄市 ●○
参加者数: 17,463 人 VS
参加率: 61.0% 徳島県三好市 ○
取得メダル: 金 鹿児島県阿久根市 ●

プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①早朝ラジオ体操(市内各所) 1,880 人

- ・学校等を中心に市内 13 ヲ所のほか、町内会において 6 時 20 分から統一で朝のラジオ体操会を実施しています。各会場での、T シャツを纏った体操台に上がった小学生にあわせて、ラジオ体操をする姿は爽快です。

②市民綱引大会(名寄市スポーツセンター) 1,437 人

【アスリート・著名人など】

阿部雅司(1994 リレハンメルオリンピックノルディック複合金メダリスト) / 池崎大輔(2016 リオデジャネイロパラリンピックウイルチェアラグビー日本代表)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / 建設水道 / 経済 / 市立病院 / 市立大学 / 生涯学習 / 市民部 / 体育協会 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 医師会 / 保健推進委員協議会 / 救急法赤十字奉仕団 / 食生活改善協議会

メディア

北海道新聞 / 名寄新聞 / 北都新聞 / FM なよろ「Air てっし」

広報・周知

市内各所にのぼりを設置、事業所や機関に当日参加のお願いのため戸別訪問を行っています。

製作物

チラシ 600 枚 / ポスター 180 枚 / 大型横断幕 12 枚 / 横断幕(その他) 1 枚 / のぼり 123 本 / T シャツ 80 枚 / 看板 1 枚

実施効果

雨天にも関わらず、早朝ラジオ体操に参加してくれる市民の姿に一体感を得ることができました。

担当者から

他市町村ではスポーツ関連部署で実施していますが、当市は福

祉分野のため、情報交換も含め、スポーツ関連部署で実施する方向の検討が必要と感じます。



阿久根市長と名寄市長のエール交換



市民綱引大会



チャレンジデー健康体操教室

皆でスポーツ！
初の三つどもえ
チャレンジデー

【名寄】全国の自治体が住民のスポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー」が25日、市内でも行われ、多くの市民が汗を流した。23回目の参加となる名寄市は、ほぼ同じ人口規模の徳島県三好市、鹿児島県阿久根市と初めての三つどもえ対戦となった。

早朝から各小学校でラジオ体操を開き、夕方からの市スポーツセンターでの市民綱引き大会には1500人が参加した。パークゴルフ大会やゲートボール大会も各所で開かれ、名寄小5年の佐藤優花さん(11)は「楽しく体を動かさせてよかった」と話した。参加率は25日に15分以上運動したと市に報告した人数を基に計算。26日に結果が発表される。(成川謙)



「チャレンジデー」で盛り上がりを見せた市民綱引き大会

2016年5月26日 木曜日 北海道新聞



【名寄】25日に行われる全国の自治体が住民のスポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー」で、市は徳島県三好市、鹿児島県阿久根市と初めての三つどもえ対戦する。

イベントは笹川スポーツ財団主催で、当日の午前0時から午後9時までに15分以上運動した住民の割合を競う。名寄では朝のラジオ体操を午前6時20分から、各小

住民のスポーツ参加率競う 名寄市長がエール交換

学校や市民文化センター駐車場などで行うほか、午後4時から市民綱引き大会を市スポーツセンターで開く。

当日は市の体育館を無料開放する予定。そのほかの各所ではパークゴルフ大会やゲートボール大会も開催される。

過去の成績は名寄市が11勝11敗、三好市が3勝7敗、阿久根市が2勝4敗。

対戦に先立ち、加藤剛士市長は13日、阿久根市の西平良将市長とインターネットのテレビ電話でエール交換。「初めての三つどもえ対戦を楽しみにしています。ともに頑張らしましょう」と健闘を誓い合った。問い合わせは市高齢介護課 ☎01654・3・2111へ。(成川謙)

鹿児島県阿久根市の西平市長とテレビ電話でエール交換する加藤市長

2016年5月17日 火曜日 北海道新聞

健康づくりの大切さ実感 市民がさわやかな汗 運動やスポーツに親しむ

【名寄】名寄市民健康づくりチャレンジデー。今回は、過去に12016人が25日2度対戦して2回ともに市内各所で行われ、勝利している徳島県三好市と、初の顔合わせりまで多くの市民が、となる鹿児島県阿久根市。今まで1自治体と親しみながら心地よい汗を流し、健康づくりの大切さを改めて実感していた。

今年初のチャレンジデーは、1も、各小中学校や保人口規模の類似自治体健康センターなどの公共施設を会場とした。朝のラジオ体操でスタート。だが、この日の午後9時までの間に15分以上継続してスポーツなどを行った住民の参加率で勝敗を競い合った。各会場住民総参加型イベントとも施設内で実施された。勝利した場合、敗

市民約100人が集まった名寄小学校会場で、加藤剛士市長が「運動やスポーツを楽しみながら慣れ親しんでほしい」と挨拶。



市民約100人が集まった名寄小会場のラジオ体操

雨天に伴って急きよ会場を体育館に移して

行われたが、集まった市民は元気よくラジオ体操で全身を動かし、さわやかな朝を迎えていた。

また、同日午後4時からスポーツセンターでの「市民綱引き大会」を はじめ、パークゴルフや体操教室などの各種イベントが開催される。公共体育施設が無料で開放され、多くの市民が体を動かして楽しんだ。(秋五)

2016年5月26日 木曜日 名寄新聞

主 催

東神楽町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 山本 進)
東神楽町教育委員会 地域の元気づくり課

〒071-1511 北海道上川郡東神楽町北一条西1丁目1番13号
東神楽町総合福祉会館

TEL : 0166-83-5407 FAX : 0166-83-2606

結 果

人 口 : 10,374 人 北海道東神楽町 ○
参加者数 : 5,869 人 VS
参加率 : 56.6% 岩手県大槌町 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①お買い物ウォーキング(ベストム東神楽店・ホクレンショップ東神楽店) 541 人

- ・町内にある地域密着型スーパー「ベストム東神楽店」と「ホクレンショップ東神楽店」に協力を依頼し、来客を対象に買い物をしながらウォーキングをしたことで、運動を意識してチャレンジデーに参加するというプログラムを実施しました。また、東神楽町と岩手県大槌町、それぞれのマスコットキャラクター「かぐらっき〜」と「おおちゃん」をコラボデザインした、オリジナルのクリアファイルをプレゼントして参加の促進を図りました。

②おはよう!ラジオ体操(町内各所) 103 人

③チャレンジコーナー(総合体育館・ふれあい交流館) 33 人

④クリーンウォーク(町内各所) 11 人

⑤体力測定会(町内各所) 7 人

実行委員会の構成団体

東神楽町公民館/地区公民館/スポーツ推進委員協議会/体育協会/B&G 東神楽指導者会

広報・周知

町の広報誌や行政無線放送による住民への周知のほか、新聞折込みによるチラシの全戸配布、事前に各学校や企業、福祉施設などを訪問し、イベントへの参加・報告を呼び掛け、開催について着実に定着していると感じました。また、公共施設のポスター掲示、目につきやすい道路沿いや各施設にのぼりを設置し、チャレンジデーへの取組が広く浸透し、当日に向けて関心を持つ方が増えているように感じています。

製作物

チラシ 7,870 枚/ポスター 90 枚/のぼり 58 本/Tシャツ 60 枚/ポケットティッシュ 2,660 個/ボールペン 1,750 本/クリアファイル 990 枚/シール(ペット茶貼付用) 720 枚

実施効果

今年は5回目の実施で、参加率は年々上昇し、住民の認知度も高くなっていると感じています。また、「お買い物ウォーキング」のイベント開催により、町外の方にも広くチャレンジデー開催の周知を図ることができたと思います。

また、初の金メダル獲得を今後の参加意欲の刺激につなげていきたいと思っています。



パークゴルフで体力づくり



町をきれいに! 体も健康に! クリーンウォーク



エール交換する山本町長



ラジオ体操で汗を流す愛別町の参加者（町提供）

チャレンジデーに愛別、鷹栖、東神楽 楽しく運動参加率競う

【愛別、鷹栖、東神楽】競う「チャレンジデー2016」(笹川スポーツ財団が、15分以上続けて運動に取り組んだ住民の参加率を一斉に行われた。上川管内

中部では愛別、鷹栖、東神楽の3町が参加し、町民が楽しく体を動かした。

各町ともに町民に運動してもらおうと工夫し、催しなどを開催した。このうち愛別町では全町ラジオ体操、パークゴルフ大会、ミニバレー大会、恒例の空き缶積みなどが行われ、1918人が参加。参加率は63・1%だったが、対戦した沖縄県東村の67・0%に一歩及ばなかった。

東神楽町ではごみを拾いながら歩く「クリーンウォーク」などが行われ、参加率は56・6%と若手県大穂町の54・0%を上回った。鷹栖町も縄跳びイベントなどで参加を呼びかけ、参加率は3町で最も高い63・3%だったが、秋田県八郎潟町の73・4%を下回った。

(石橋治佳)

2016年5月30日 金曜日 北海道新聞

主 催

美唄市チャレンジデー実行委員会 (委員長 高橋幹夫)

美唄市教育委員会スポーツ振興課

〒 072-8660 北海道美唄市西三条南 1-1-1

美唄市役所

TEL : 0126-35-1316 FAX : 0126-62-1088

結 果

人 口 : 23,343 人

北海道美唄市 ○

参加者数 : 10,001 人

VS

参加率 : 42.8%

神奈川県湯河原町 ●

取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①すこやかウォーキング(旭公園～遊縁通り) 32 人
- ②び～助健康体操(保健センター) 24 人
- ③リズムエクササイズ(総合体育館) 19 人
・ダンスやエアロピクスの要素を取り入れたエクササイズ。
- ④親子で遊ぼうチャレンジデー(子育て支援センター) 15 人
- ⑤貯筋体操(総合体育館) 9 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／小学校(校長会)／中学校(校長会)／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／高齢者団体・老人クラブ／市ラジオ体操連盟／健康関連自主グループ／市文化協会／市運動推進員

メディア

北海道新聞／プレス空知

広報・周知

市内全町内会に通知、企業等の訪問、街頭 PR(ポケットティッシュ配布)、SNS による情報発信。

製作物

チラシ 22,000 枚／ポスター 200 枚／大型横断幕 1 枚／横断幕(その他) 20 枚／のぼり 60 本／Tシャツ 40 枚／ポケットティッシュ 1,000 個／独自製作横断幕 1 枚／報告用紙回収ボックス 16 個／ポケットティッシュ配布用ボックス 10 個

実施効果

初実施となる昨年は対戦に敗れたことで、市民からは「昨年は悔しい思いをしたので、今年は勝ちたい。」趣旨の声が多くあり、勝利に向かって市民が一体となりました。また、個人参加が昨年よりもはるかに多く、市民のスポーツや健康に対する意識の向上につながったと思われます。

担当者から

前問で「市民のスポーツや健康に対する意識が向上した」としましたが、まだまだチャレンジデーの当日だけという感じは否めなところです。

行政としては、チャレンジデーを契機に、その意識を日常的に継続し、拡充させるような取組みが必要であると感じています。



ラジオ体操



スポーツクライミング



ミニバレーボール